エコアクション21 環境活動レポート

6 ジーアクト

対象期間:令和5年5月1日~令和6年4月30日



〒434-0016

静岡県浜松市浜北区根堅890番地の1(~令和5年8月)

TEL: 053-588-0600 FAX: 053-588-3671

〒434-0002

静岡県浜松市浜名区尾野2767 (令和5年9月~移転)

TEL: 053-582-1110 FAX: 053-582-1505



目 次

[1]	当社の概要	1P
[2]	認証範囲、対象期間、推進組織	2P
[3]	環境方針	3P
[4]	環境目標	4P
[5]	環境活動内容(R5年度)	5·6P
[6]	R5年度取組の結果とその評価	7·8·9P
[7]	中長期環境目標	10P
[8]	次年度の環境活動計画(R6年度)	11·12F
[9]	環境関連法規等の遵守状況	13·14F
[10]	社会貢献活動	15P
[11]	代表者による全体評価と見直し・指示	16P

[1]会社概要

事業者名

株式会社ジーアクト

代表者名

代表取締役社長 堀内 康博

所在地/連絡先

〒434-0016

静岡県浜松市浜北区根堅890番地の1 (~令和5年8月)

TEL 053-588-0600 FAX 053-588-3671

〒434-0002

静岡県浜松市浜名区尾野2767 (令和5年9月~移転)

TEL 053-582-1110 FAX 053-582-1505

環境管理責任者

代表取締役社長 堀内康博

担当者

環境管理事務局 堀内 伯紀

事業内容

光学部品の精密切削加工 ・・・ 90%

専用工作機の部品加工 ・・・ 10%

事業の規模

従業員数 34人

工場延べ床面積 移転前(根堅):1505平方メートル

移転後(尾野):2329.28平方メートル

創立記念日

昭和54年6月1日





[2] 認証範囲、対象期間、推進組織

認証範囲

適用する事業所 本社事務所

本社工場

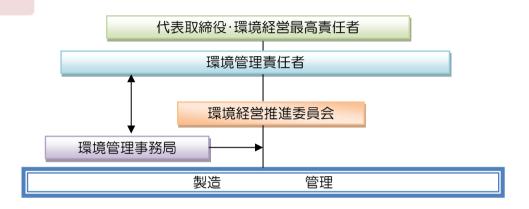
※すべてのサイトを認証範囲とします。

適用構成員 当社役員、従業員(パート含)

レポート対象期

R5年5月1日~R6年4月30日

推進組織



役割分担

	環境マネジメントを計画的に実施するための内容を確認、決定する。					
最高責任者	① 管理責任者をはじめ必要な責任者を任命する。					
(社長)	② システムの構築・運用・維持に必要な経営諸資源を準備する。					
	③ 基本理念・基本方針を制定し基本的な環境目標を設定する。					
	④ システムの構築・運用に関する情報を収集し、システム全体の見直しを行い、					
	必要あれば改定を指示する。					
	⑤ 経営の課題とチャンスの明確化					
	環境管理責任者を委員長として(随時)実施する。					
環境管理責任者	① 経営資源の合理的・効果的な運用を図り、環境経営に関する委員会					
	組織(推進委員会)を運営する。					
	② 最高責任者による見直しのための情報として、システムの構築・運用に					
	関する情報を最高責任者に提供する。					
推進委員会	環境管理責任者を委員長として(随時)実施する。					
	·各GLで構成し環境マネジメントシステム及び環境改善に関する会議を実施する。					
事務局	・環境管理責任者を全面的に補佐する。					
製造	・切粉の分別をする。					
	・工程内不具合を削減する。					
管理	・グリーン調達ガイドラインの情報発信・情報収集をする。					
	・グリーン購入の推進をする。					

基本理念

株式会社ジーアクトは、経営理念「仕事はいつもおもしろく」を実践しつつ、日々モノづくりに 精進しております。このたび、モノづくりに環境という視点も加え、企業活動の全域において、 環境問題へ積極的に取り組んでいくこととしました。この取り組みを通じ、当社は企業市民として 社会的責任を果たしてまいります。

行動指針

当社は、すべての事業活動が環境に何らかの影響を与えていることを認識した上で、以下の環境保全活動を推進します。

- 1. 事業活動の全領域で、安全を図り、省エネルギー·省資源·リサイクルなどに配慮した活動・サービスを提供します。
- 2. 環境汚染を未然に防止すると共に、環境経営システムと環境保全実績が継続的に改善できるように推進します。
- 3. 環境関連法令および当社が合意したお客様からの要求事項等を遵守します。
- 4. 次の事項を重点的なテーマとして、環境目標を設定し、必要があれば目標を見直すなどの効果的な取り組みを行います。
 - (1)「環境への負荷チェック」の結果、著しい項目に対する改善目標管理。特にCO2排出抑制、 廃棄物排出抑制、総排水量抑制、化学物質使用量抑制については、改善目標を設けて目標管 理を行うか又は維持管理を行います。
 - (2) グリーン調達ガイドラインに関する情報収集活動および情報発信活動を推進します。
 - (3) 品質管理を徹底し、不具合削減に努めます。
 - (4) 5S活動を基軸に生産性向上を図ります。
- 5. 環境保全関連の行政機関・団体などの環境保全施策に協力し、社会貢献活動を推進します。
- 6. 環境教育・訓練、社内広報活動の実施により、全ての構成員に環境方針を周知徹底すると共に、 環境保全に関する意識を高め、社内における環境保全状況の知識・認識の向上を図ります。
- 7. この環境方針は、社外の人にも公開します。

平成19年7月1日制定 令和2年9月17日改定(第6版) 株式会社 ジーアクト 代表取締役 堀内康博

[4] 環境目標

当社は以下の目標を掲げて環境活動に取り組みました。

	No.	テーマ	担当	中長期(3年間)目標 (令和4年度~令和6年度)	単年度(令和5年度)の目標
原則とす	1	二酸化炭素 排出量削減	全部署 (堀内伯·筒井)	原単位でCO2排出量および電力 使用量を、令和3年度比で令和6 年度までの3年間で10%削減する。	原単位でCO2排出量および電力 使用量を、令和3年度比で6% 削減する。
する目標	2	廃棄物 排出量削減	全部署 (堀内伯·筒井)	原単位で排出実績を、 令和3年度比で令和6年度までの 3年間で10%削減する。	原単位で排出実績比を、 令和3年度比6%削減する。
	3	グリーン調達 ガイドラインの 情報収集・情報発信	管理製造 (堀内 _康)	情報収集、情報発信は継続的に 推進する。	協力会社の視察・1回以上
経営上	4	工程内不具合率 の削減		・令和4年度:0.5%以内にする。 ・令和5年度:0.4%以内にする。 ・令和6年度:0.3%以内にする。	不具合率0.5%以内にする。
の目標	5	社会貢献活動	管理 (堀内鈴)	社会貢献活動への参加回数を 4回以上/年とする。	社会貢献活動への参加回数を 4回以上/年とする。
	6	5S活動を基軸にした 生産性向上活動	全部署 (堀内伯)	令和3年度比で機械稼働率を 10%以上上げる	取組活動数5件以上

- ※ 上水道使用量の削減は環境負荷が少なく改善が定着したため、環境目標や環境活動計画は作成せず、 実績を把握し維持管理を行っています
- ※ 化学物質使用量の削減は、使用量がごくわずかなため対象外です。
- ※ グリーン購入の推進は、コスト比較をしながら維持管理を行います。

課題と展望

当社における中長期的な課題は、製品品質の高度化や変種変量に対応する生産体制であり、加工の自動化や加工環境の改善で対応をしていく。

また特定の取引先に対するシェアの分散を図りリスクを考慮した健全な経営体質を構築していくことを推進する。

新工場が稼働しCSR活動が有利な状況になってきているので、エコアクションの活動と合わせて客先の信頼をさらに得られてきている。

[5] 環境活動内容(R5年度)

当社は事業活動における環境への負荷を低減するため以下のような活動を 実施しております。

0	大変良くできた
0	できた
	できなかった

テーマ			活動実施項目	実施時期	評価	
	使用していない機器の電源オフ・消灯			通年	0	
	適正な冷	"	0			
	ハイブリッ	"	0			
	エコドライ	"	0			
	不具合序	廃却件数を派	載らす	//		
二酸化炭素排出	コンプレッ	ッサーの夜間	時使用管理をする	"	0	
量の削減	コンプレッ	ッサーのエア	漏れ点検を定期的におこなう。	"	0	
	作業標準	書を作成し	、段取時間を改善する	//	0	
	終業の際	※、各機械の	エアーコックを閉める	//	0	
	コンプレッサー室の換気			"	0	
	コンプレッサーにダクトを取り付け排熱効率を上げる			//	0	
	新工場の太陽光パネル設置計画			//	0	
担当部署	全部署	全部署 新工場へ移転し、太陽光パネルを設置し稼働している。002				
責任者	堀内康博	コアンド	待した通りの効果が得られている。			
	定められた方法に従って分別			通年	0	
	種類毎の廃棄物置場に収集・分別			//	0	
	各廃棄物箱の名称表示を徹底			//	©	
廃棄物排出量	混合物の分別によるリサイクル化向上			"	0	
の削減	不具合を削減し、廃却をなくす			//		
	混合切粉はハンドマグネットを使い鉄との選別をする。			//	©	
	廃棄物の見回り強化			//	0	
	使用済電	[気機器類(Dリサイクル推進	//	0	
担当部署	全部署 移転により不用品が多く出たため、一時的に廃棄物排出量が大きく増加し					
責任者	工場へ移転した後も切粉の分別を徹底することで有価廃棄につながるため、今 堀内康博 もリサイクル向上を図っていく。					

- ※化学物質使用量の削減は、使用量がごくわずかなため対象外です。
- ※グリーン購入の推進は、コスト比較をしながら維持管理を行います。
- ※グリーン調達ガイドラインの情報収集・情報発信は随時行います。

[5] 環境活動内容(R5年度)

当社は事業活動における環境への負荷を低減するため以下のような活動を 実施しております。

0	大変良くできた
0	できた
	できなかった

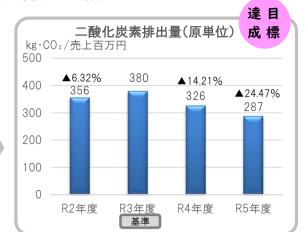
テーマ	活動実施項目	実施時期	評価
	品管の情報収集データによる定例会議の推進	通年	0
	対策結果のフォローの推進	//	0
	協力メーカーの教育指導	//	0
	機械ごとに始業点検をする。	//	0
工程内不具合率 の削減	洗浄カゴや社内の棚の角部分を保護し、接触がおこっても打痕ができないようにする。	//	0
	現場作業ルールの徹底のため、週に1度従業員で唱和を行う。	//	0
	外観基準を設け、外観の標準化をする	//	0
	切粉や油で汚れたトレーの選別および処分	//	0
	不具合対策として必要なものには全数検査を行う	//	0
担当部署	製造 昨年よりは改善されたが、今年度も目標未達となっている。	月に一度朝	礼で不具
責任者	堀内康博 合集計の伝達を行い、社員全員で意識の向上をはかる。		
	「小さな親切」運動事務局の活動に参加(西部地域等)	1回/年	0
	当社敷地北側の公用地の草刈り(会社駐車場等)	2回/年	0
社会貢献活動	エコキャップ運動に参加	1回/年	0
	使用済切手の回収	//	0
	会社周辺のゴミ拾い	2回/年	
担当部署	管理 今年度は工場移転があり、今までの活動ができない部分が	あった。今後	 後は活動内
責任者	堀内鈴子 容を一部改定し実施していく。		
	5S改善シートにより活動の見える化をする	通年	0
58活動を基軸に	毎月の5S会議で取り組み内容の協議を行う	//	0
した生産性	毎日各グループごとに10分間の5S活動を行う	//	0
向上活動	「必要なもの」を「必要な時」に「必要なだけ」誰でも取り出せるようにする	//	0
	誰でも戻せるようにする	//	0
担当部署	全部署 移転に伴い工場のレイアウトが変更になったため、より生産 ないます。	生の向上につ	つながるよ
責任者	堀内康博 う、5S活動を基に表示やルール作りを徹底していきたい。		
	SDGs普及のための勉強会を行う	1回/年	0
SDGs	改善活動により生産性の向上を通じて、働きがいも経済成長も推進する	通年	©
3DQ3	不要な在庫は作らず、作る責任を果たす	//	0
	安全管理を通じて全従業員の健康を守る	//	0
担当部署	全部署 安全服装基準を設け、分かりやすく掲示したことで、作業時	 の安全確保	<u></u> を周知する
責任者	堀内康博 ことができた。		

[6]取組結果と評価

①二酸化炭素排出量

目標値:令和3年度比6%削減



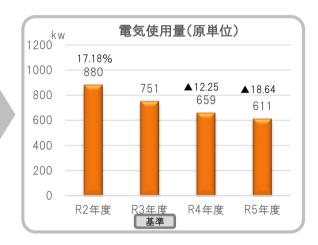


電力の排出係数については、中央電力㈱の調整後排出係数 (0.479)と中部電力の調整後排出係数(0.440)を使用する。

R3年度比24.47%削減で目標達成となった。

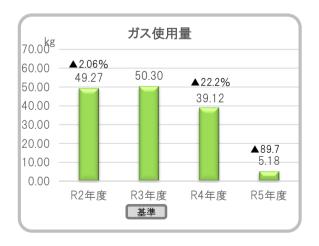
電気使用量

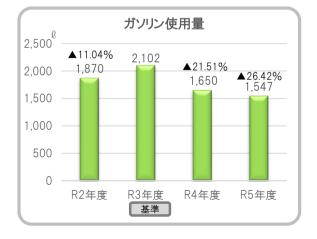




電気使用量は生産量によって変動するため原 単位で比較する

R3年度比で18.64%削減できた。





新工場ではプロパンガスの設置をしていないため R5年9月以降はガスの使用がなくなった。

R3年度比で26.42%削減できた。

[6]取組結果と評価

②産業廃棄物排出量

目標值:令和3年度比3%削減



廃棄物排出量(原単位) kg/百万円 1347.3% 35.0 30.3 30.0 250 20.0 15.0 10.0 ▲3.0% ▲64.5% 5.0 2.1 2.0 0.7 0.0 R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 基準

廃棄物排出量は生産数により変動するため原 単位で比較する

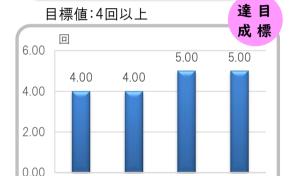
R5年8月の工場移転にともない不要なものを 廃棄したため排出量が大幅に増えた。

③グリーン調達ガイドライン





⑤社会貢献活動参加回数



④工程内不具合率

目標値:不具合率0.5%以内にする



⑤5S活動を基軸にした生産性向上活動

R3年度

R4年度

R5年度

R2年度



5034美担託	目標	取組件数5件以上
50以普物別	結果	12件

R2年度 R3年度 R4年度 R5年度 総生産数 (個) 234.215 267.220 195.296 165.299

不具合率0.54%で前年度に引き続き 目標未達成となった。

5Sの取組件数は12件あったが、機械稼働率は 工場移転のため機械の稼働が停止していたこと と売上の大幅な減少でさがっている。

[6]取組結果と評価(58活動)

5S活動の取り組みを改善前後の写真で2例抜粋します。

活動期間: 2024年 2月 ~ 2024年 3月

担当課: 2課

改善場所

^{改善目的} 倒す恐れがあるため、転倒防止策をする。

・機械に固定し、カップが動かないようにする。 +α 直置きをなくす。

ビフォー



コメント(問題点やなぜ取り組んだかなど) 蹴とばしてしまう。見た目がよくない。

アフター



コメント(結果や改善効果など) 返却場所が固定されて、転倒防止もできた。

活動期間: 2024年 4月 ~ 2024年 4月 担当課: 1課

切削層箱

地下置きになっている切削屑箱を専用棚で一元管理する為

^{改善内容} 切削屑箱を入れる為の箱が床に地下置きに積んで有る状態を改善する

ビフォ



コメント (問題点やなぜ取り組んだかなど) 切削屑箱を入れる箱と空箱が床に地下置きにされている

アフター



コメント (結果や改善効果など) 切削屑箱用の専用棚にし箱を一元管理するよう変更した

[7] 中長期環境目標(令和4年度~令和6年度)

令和5年度は以下の目標を掲げて環境活動に取り組みます。

	No.	テーマ	担当	中長期(3年間)目標 (令和4年度~令和6年度)	単年度(令和6年度)の目標
原則とす	1	二酸化炭素 排出量削減	全部署 (堀内伯·筒井)	原単位でC02排出量および電力 使用量を、令和3年度比で令和6 年度までの3年間で10%削減する。	原単位で「電力使用量」を、 令和3年度比6%削減する。
9る目標	2	廃棄物 排出量削減	全部署 (堀内伯·筒井)	原単位で排出実績を、 令和3年度比で令和6年度までの 3年間で10%削減する。	原単位で排出実績比を、 令和3年度比6%削減する。
	3	グリーン調達 ガイドラインの 情報収集・情報発信	管理製造 (堀内康)	情報収集、情報発信は継続的に 推進する。	協力会社の視察・1回以上
経営上	4	工程内不具合率 の削減	全部署 (堀内康)	· 令和4年度: 0.5%以内にする。 · 令和5年度: 0.5%以内にする。 · 令和6年度: 0.4%以内にする。	不具合率0.5%以内にする。
の目標	5	社会貢献活動	管理 (堀内鈴)	社会貢献活動への参加回数を 4回以上/年とする。	社会貢献活動への参加回数を 4回以上/年とする。
	6	5S活動を基軸にした 生産性向上活動	全部署(堀内康)	令和3年度比で機械稼働率を 10%以上上げる	取組活動数 5件以上

- ※ 上水道使用量の削減は環境負荷が少なく改善が定着したため、環境目標や環境活動計画は作成せず、 実績を把握し維持管理を行っています
- ※ 化学物質使用量の削減は、使用量がごくわずかなため対象外です。
- ※ グリーン購入の推進は、コスト比較をしながら維持管理を行います。

[8] 次年度の環境活動計画(R6年度)

当社は事業活動における環境への負荷を低減するため以下のような活動を実施します。

テーマ		活動実施項目				
	使用していない機器の電源オフ・消灯					
	適正な冷暖房温度(室内温度・湿度)の設定値での推進					
	ハイブリッ	ド車の導入の	検討	//		
	エコドライ	ブの推進(安	全運転で速度を守る)	//		
	不具合廃	掛件数を減	らす	//		
二酸化炭素排出	コンプレッ	サーの夜間	時使用管理をする	"		
量の削減	コンプレッ	サーのエア派	粛れ点検を定期的におこなう。	"		
	作業標準	書を作成し、	段取時間を改善する	"		
	終業の際	・業の際、各機械のエアーコックを閉める				
	コンプレッサー室の換気			"		
	コンプレッサーにダクトを取り付け排熱効率を上げる			"		
	太陽光発電のモニタリングを実施しデータを収集・分析する。			//		
担当部署	全部署	全部署コメント				
責任者	堀内康博	コノント				
	定められた方法に従って分別			通年		
	種類毎の	D廃棄物置場に収集・分別				
	各廃棄物	2箱の名称表示を徹底				
廃棄物排出量	混合物の分別によるリサイクル化向上			"		
の削減	不具合を削減し、廃却をなくす			//		
	混合切粉はハンドマグネットを使い鉄との選別をする。			//		
	廃棄物の見回り強化			//		
	使用済電	気機器類の	リサイクル推進	"		
担当部署	全部署					
責任者	堀内康博	under in the interval in the				

- ※化学物質使用量の削減は、使用量がごくわずかなため対象外です。
- ※グリーン購入の推進は、コスト比較をしながら維持管理を行います。
- ※グリーン調達ガイドラインの情報収集・情報発信は随時行います。

[8] 次年度の環境活動計画(R6年度)

当社は事業活動における環境への負荷を低減するため以下のような活動を実施します。

テーマ		活動実施項目	実施時期		
	品管の情報収集データによる定例会議の推進				
	対策結果のフォローの推進				
	協力メース	カーの教育指導	//		
	機械ごとに始業点検をする。				
工程内不具合率	洗浄カゴや社内の棚の角部分を保護し、接触がおこっても打痕ができないようにする。				
の削減	現場作業	ルールの徹底のため、週に1度従業員で唱和を行う。	//		
	外観基準を設け、外観の標準化をする				
	切粉や油	で汚れたトレーの選別および処分	//		
	不具合対	策として必要なものには全数検査を行う	//		
	月に一度	全体朝礼で不具合率の報告をし、全体へ周知する	//		
担当部署	製造	コメント			
責任者	堀内康博				
	「小さな親	切」運動事務局の活動に参加(西部地域等)	1回/年		
	自治会の側溝清掃に協力する				
社会貢献活動	エコキャップ運動に参加				
位云貝\\\// 白刬	使用済切手の回収				
	避難場所としてテラスが利用できることを回覧板で地域住民に周知する				
	社内自動	販売機の売上の一部を市内のこども食堂へ寄付する	通年		
担当部署	管理	管理 2/2.4			
責任者	堀内鈴予	コメント			
	5S改善シ	一トにより活動の見える化をする	通年		
5S活動を基軸	毎月の59	会議で取り組み内容の協議を行う	//		
にした	毎日各グループごとに10分間の5S活動を行う				
生産性向上活動	「必要なもの」を「必要な時」に「必要なだけ」誰でも取り出せるようにする				
	物の定置化				
担当部署	全部署	コメント			
責任者	堀内康博				
	SDGs普及	めのための勉強会を行う	1回/年		
SDGs	改善活動	により生産性の向上を通じて、働きがいも経済成長も推進する	通年		
SDGS	不要な在庫は作らず、作る責任を果たす				
	安全管理を通じて全従業員の健康を守る				
担当部署	全部署	74.4			
責任者	堀内康博				

移転に伴い、社会貢献活動の内容を一部変更しました。

[9] 環境関連法規等の順守状況

関連法規

(1) 違法・訴訟の有無

関連法規制の遵守状況の評価結果、法規等についての違反はありませんでした。 なお、関係当局よりの違反の指摘、近隣からの苦情等、過去3年間ありませんでした。

(2) 当社に適用となる主な環境関連法規

確認者: 堀内伯紀/確認日: R6426

<i>□ +1</i>	15 4.111 6	T 1 - T	:R6.4.26
名称	規制対象	要求事項	対応状況
騒音規制法	コンプレッサーおよび送風機の定格	・使用開始の届出	届出済
	出力が7.5kw以上	・利用基準の遵守	
静岡県生活環境の	コンプレッサーおよび送風機の定格	・使用開始の届出	届出済
保全等に関する条例	出力が3.75kw以上	・利用基準の遵守	
(騒音)	すべての旋盤、ボール盤、平削り盤	・使用開始の届出	届出済
		・利用基準の遵守	
振動規制法	コンプレッサーの定格出力が	・使用開始の届出	届出済
	7.5kw以上	・利用基準の遵守	
廃棄物の処理	保管の基準、委託の基準	・保管場所を定めて保管し、種類・保管	対応済
および清掃に	産業廃棄物管理票の運用ルール	管理者·連絡先および保管場所である	
関する法律		ことを見やすい位置に表示(60cmX60cm	
		以上の大きさ)すること	
	【(株)コ-シンサ-ビス H19.4.1】	・契約書に委託業者の有効期限内の	対応済
	【예金田商店 H22.1.7】	許可証の写しが添付されていること	
		・契約書には必要事項である項目が	対応済
		すべて含まれていること	
		・契約は二者間契約とすることとし、	対応済
		契約終了の日から5年間保管する	17231
		・交付したマニフェストは定められた期限	対応済
		までに返却されていること	737871
		0001-224-01000-0	
		・返却されたマニフェストは5年間保管する	対応済
			1757
		・マニフェストの年に1度の行政への報告	提出済
		(令和5年度分)	(R6-06-12)
		・水銀使用製品廃棄物の適正保管および	対応済
		道正処理	
		 ・委託業者の現地視察	
		Z TOXIX II	
 自動車	■ 使用済自動車の引取業者への	・リサイクル料金の支払い	対応済
リサイクル法	月渡業務		(R6-01-17)
			(1台引取)
家電リサイクル法	- 廃家電を排出する事業者	・廃棄物として排出する場合は適切に	対応済
	(テレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機)	引渡し料金の支払いに応じる	(R5-08-30)
	() - () () () () () () () () (5 1,750 1 1 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2	
	1	1	

名称	規制対象	要求事項	対応状況
フロン排出抑制法	業務用エアコン等のフロン コンプレッサー用エアドライヤ 工作機械用オイルコン	① 廃却時には専用の伝票(フロン回収 工程管理表)を使用する。	対応済
		② フロンの自主検査を行う。	3ヶ月に1回 対応済
		③ 7.5kwを超える出力は業者に頼んで 点検をする。	該当なし
グリーン購入法	グリーン購入法に基準あり 購買品の一部で実施	・できる限り環境物品等を選択するよう 努める。	対応済
グリーン調達 ガイドライン	各取引先のグリーン調達ガイドラインを 守る	・取引先より環境調査の依頼があった製品 に対して随時調査する。	随時対応済
化学物質 管理促進法 (PRTR法)	従業員数 34人 延べ床面積1505㎡ 消防設備の点検	① 防火管理者を定め、消防計画の作成、 訓練の実施、設備・施設の点検およ び整備、その他防火管理上必要な 業務を行う。	該当せず
		② 防火管理者を定めたときは、遅延なく その旨を所轄消防長または消防署長 に届け出る。	該当せず
		③ 半年毎の消防設備の点検、3年ごとの 消防署の立ち入り	対応済
道路交通法	乗車定員11人以上の自動車1台以上 または、その他の自動車5台以上の保有	道路交通法施行規則(第9条の10) ① 運転前後の運転者に対して、酒気帯び の有無を目視などで確認すること。	対応済
		② 酒気帯びの有無について、1年間記録 を保持すること。	
浄化槽法	浄化槽管理者	① 年に3回以上の保守点検(法第10条)② 年に1回の法定検査	対応済 (R5-08-30)
		(法第7条および第11条)	
		③ 年に1回の清掃(法第10条)	(R6-09-24)

[10]社会貢献活動の実施

エコキャップ運動の参加

令和5年度 合計 4.19 kg



火災訓練 実施日:R6年3月6日(水)





設備投資 太陽光パネル設置 _{実施日:R5年9月}





見直し実施日 R6.4.28

見直し実施者: 代表取締役 堀内 康博

【インプット】

項目		見直し必要なインプット情報	
	ヒアリングチェック・内部監査の	構築状況ならびに運用状況はヒアリングチェックシートよりおおむね良好でした。	
1	結果·法令順守	環境関連法規等の遵守状況についても良好でした。なお当社の内部監査は実施して	
		いません。	
2	苦情を含む利害関係者からの	前回の見直し以降の1年間のなかで現時点で苦情を含む利害関係者からの重要な	
	重要な情報	情報はありませんでした。	
3	 環境パフォーマンス	おおむね良好でした。社員の環境意識の定着度合いは毎月のパロールチェックの	
	**************************************	報告で良好なことが判断できます。	
4		・工程内不具合率は、約0.54%となり目標未達となってしまいました。	
	環境目標の達成	活動内容を見直して是正処置をしています。	
	(詳細はP7~P8)	・移転に伴い、不用品が多く出た為、産業廃棄物排出量は目標未達となりました。	
		移転後は引続き分別を徹底していきます。	
5	問題点の是正処置および	目標未達となった環境目標は環境活動レポートの中で是正処置を記録しました。	
	予防処置の状況		
6	前回までの見直しの結果に	5S活動は以前より行っていましたが、目標と活動計画に盛り込み生産性向上を	
	対するフォローアップ	図っています。	
		SDGsについても活動計画へ盛り込み、全社員に浸透させるよう	
		取り組んでいます。	
7	環境関連法規等を含む周囲の	移転後は浄化槽が設置されたため、浄化槽法を順守する。	
	状況の変化		
8		・移転後は太陽光パネルが稼働したため、カーボンニュートラルが加速する見込み。	
	改善のための提案·その他	発電量の観測を続け、今後のCO2削減目標を見直していきます。	
		・5S活動では、表示の徹底をして物の定置化を図ります。	

【アウトプット】

1 代表者の感想・指示

働き方の改革が加速しており、かつ環境への配慮が求められる中で新工場が稼働し、

工場スペックの高さがエコアクション活動にも貢献していると感じます。

しかし、仕事量の減少と共に不具合の率が高くなっているので、重点項目をしっかりと把握し 削減に向けた取り組みの推進をお願いします。

2 指示事項に対する内容

- ① 方針及び実施体制は継続としました。
- ② 環境活動計画(工程内不具合数の削減、社会貢献活動、5S、)に対して実施項目を追加、変更しています。
- 3 今後の活動項目として

新工場での活動で大きく変わる部分も出てくると思います。

緊急時に必要になる設備の使用方法など周知をし、BCPを意識した内容へしていきます。